

認定看護管理者カリキュラム基準【セカンドレベル】

2012年2月7日改正

2017年3月2日下線部追記

【教育目的】				
1. 第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。 2. 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。				
教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
看護組織管理論	1. 組織運営に関する諸理論に基づき、担当部署の看護管理過程を評価し、質向上のための方策を見いだす。	1) 組織マネジメントの基本理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織構造と機能 ・ 組織化の方法 (職務設計と職務規程) 	45
		2) 組織の意思決定と変革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変革理論 ・ 組織の意思決定 	
		3) 組織文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織文化とは ・ 組織文化のマネジメント 	
		4) 組織分析 (組織診断)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属組織の分析法 ・ 所属組織の評価方法 ・ 組織の経営戦略 	
		5) 看護ケア提供方式の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な看護ケア提供方式の構築と活用 	
		6) 看護組織のナレッジマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナレッジマネジメント 	
		7) コンフリクトマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンフリクトマネジメント ・ 交渉術 	
人的資源活用論	1. 組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等、人的資源管理に必要な知識・技術・態度について理解できる。 2. 看護職者のキャリア開発について概念・理論、具体的方法について理解できる。	1) 人材を育てる看護マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア開発支援 ・ 人的資源計画の基本的考え方（採用から、異動、退職までの人的資源のフロー計画） ・ 人材育成計画（人材育成プログラムの作り方、新人看護職員研修の企画・運営、専門性の高い看護師の育成、クリニカルラダーの基本的概念と活用、ジェネラリストの育成、院内研修制度） 	45
		2) 看護人事・労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員配置 ・ 能力評価 ・ 目標による管理 ・ 勤務計画 ・ WLBと勤務形態の管理 ・ 看護職の健康管理 (シフトワークと健康被害、感情労働、労働災害) ・ ストレスマネジメント ・ タイムマネジメント ・ 労働関係法規の理解と看護管理の実務 	
		3) 人材を活かす看護マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的資源の活用のためのマネジメント ・ スペシャリスト（認定看護師、専門看護師、特定行為研修修了者等）の活用 ・ 動機づけ理論の活用（フィードバック、面接技法、インセンティブシステム） ・ 認定看護管理者の活用 ・ 外部資源の活用 	

認定看護管理者カリキュラム基準【セカンドレベル】

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
ヘルスケアサービス管理論	1. 保健・医療・福祉サービスを提供する上で必要な基本的考え方と具体的な方法について理解できる。 2. 他職種・他部門・他施設・地域等との協働・連携の方法論について理解できる。	1) 保健・医療・福祉サービス提供組織の仕組みと連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健医療福祉サービス提供組織を規定する法律 ・ 専門職チームによるヘルスケアシステムと課題 ・ スキルミクス ・ 看護業務管理 ・ ヘルスケアサービスの連携（<u>訪問看護事業所、介護事業所等を含む</u>） ・ <u>地域医療構想と医療計画</u> ・ <u>地域連携における看護職の役割</u> 	45
		2) 施設環境のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>病院及び訪問看護事業所、介護事業所等の</u>保健医療福祉施設における施設環境のあり方（療養環境・作業環境・衛生環境） ・ 施設環境の安全性 	
		3) 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護単位における安全管理 ・ 事故発生のアセスメント、分析、対処 ・ 安全管理教育 ・ 法令遵守 ・ 労務災害とその予防 ・ 災害の備え 	
		4) クオリティマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護サービスの質保証と改善 ・ アウトカムマネジメントの考え方 ・ 質管理のための研究の活用 ・ 看護管理に関する研究の動向 	
		5) ヘルスケアサービスへの情報活用とマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護管理に資する情報システムの構築 ・ 人的資源管理と情報活用 	
医療経済論	1. 医療経済の構造・現状について学び、変革が進む医療システムについて理解できる。	1) 我が国における社会保障と医療経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障・保険制度と医療経済 ・ 生産性、分配 ・ 個人の医療サービス消費プロセス ・ 保健医療政策の現状と動向 ・ 医業収支と医事 ・ 病院経営指標 	30
		2) 看護サービスにおける経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護サービスの経済性（効率性・公平性） ・ 人事管理と経済性 ・ 物品管理と経済性 ・ 情報管理と経済性 ・ 時間管理と経済性 ・ 効果的・効率的な資源の活用 ・ 看護活動の経済的評価 	
統合演習	1. 教科目で学習した内容を統合、活用し、看護管理の実践の向上をめざす。	統合演習	自部署について、分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。	15

認定看護管理者カリキュラム基準【セカンドレベル】

看護組織管理論	45	時間
人的資源活用論	45	時間
ヘルスケアサービス管理論	45	時間
医療経済論	30	時間
統合演習	15	時間
総時間	180	時間

○演習について

- ・教育機関の裁量により演習時間を設定する。ただし、総時間の1/3に該当する60時間を上限の目安とする。なお、「統合演習」はこの時間内に含める。